

【河川】「阿武隈川上流減災に係る取組方針」のフォローアップを実施！

1. 概要

- 阿武隈川上流で発生しうる大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国が連携して、減災のための取組を共有し、取組を推進するため、6月1日に「第3回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」を開催しました。
- 昨年の協議会で策定した「阿武隈川上流の減災に係る取組方針」の地域の取組方針に基づき、関係機関の対策実施状況についてフォローアップを実施しました。

2. 日時／実施状況

- 日 時：平成29年6月1日(木)
- 場 所：ホテル 福島グリーンパレス 2階 孔雀の間
- 出席者：伊達市、国見町、桑折町、福島市、二本松市、大玉村、本宮市、郡山市、須賀川市、玉川村、福島气象台、県(土木部・危機管理部)、摺上川ダム、三春ダム、福島河川国道事務所

議事内容

- ・(1)幹事会の報告
- ・(2)各機関の対策実施状況のフォローアップ
⇒出席委員から取組事例のご紹介
- ・(3)平成29年度出水期に向けての確認事項

関係機関約60名が参加



会場全景

3. 主な意見・コメント等

- ・ 昭和61年洪水の移動パネル展は、水防への思いを新たにされた大変意義のあるパネル展だった。
- ・ 消防士を防災アドバイザーとして、いざというときの自らの命の守る方法、地域コミュニティの確立などに役立っている。
- ・ お世話になってきた、地域の消防団、水防団に入り、地域の方々に恩返しをしていくという代々の消防団スピリットというものを引き継いでいる。
- ・ 地域の実情に即した防災訓練をしていきたい。
- ・ 橋脚への水位表示は、大雨の際にも目視で水位を確認でき、水防活動に大いに役立ち、非常に有効だ。
- ・ 外国人、お年寄りの方々にも配慮したハザードマップを作成したい。
- ・ 過去の洪水を後世へ伝承する際には、映像で視覚に訴える教育も大事。



伊達市



国見町



桑折町



福島市



二本松市



大玉村



本宮市



郡山市



須賀川市



玉川村